



金属拡底式 **アンカーシステム**  
ANZEX(アンゼックス)

**ANZEX-K**



動画公開中

# 施工手順書

M10・M12  
オネジタイプ

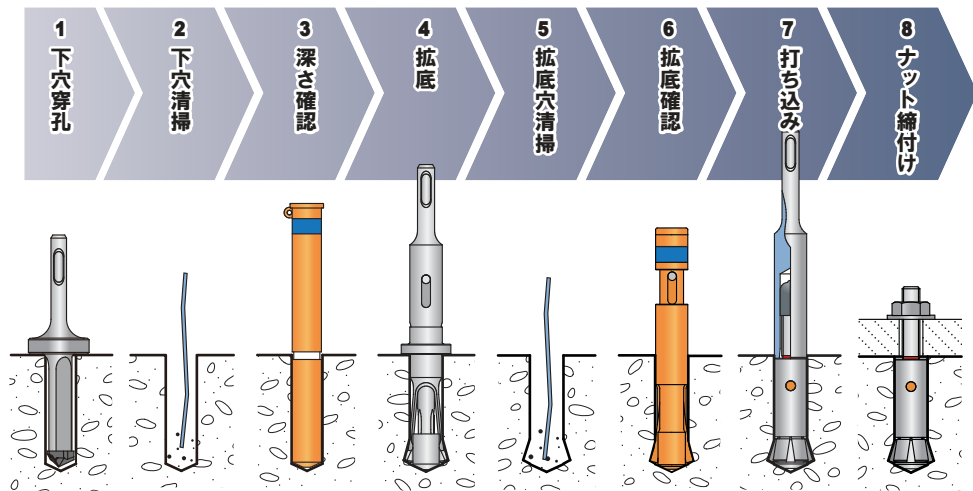
このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前にこの施工手順書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

## 施工工具品番一覧

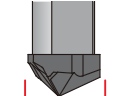
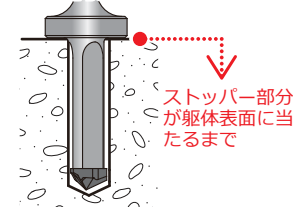
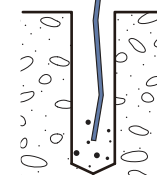
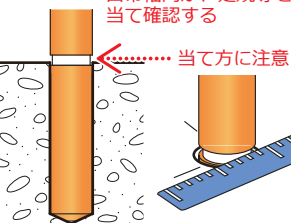
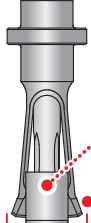
品名	M6	M8	M10	M12
下穴用ビット	—	KPH136047SDS	KPH166058SDS	KPH196069SDS
拡底用カッター	—	KUC136DSDS	KUC166SDS	KUC196SDS
打込棒 (機械式 / オネジ)	—	KSTSDSM8	KSTSDSM10	KSTSDSM12
打込棒 (手打式 / オネジ)	—	KSTM8	KSTM10	KSTM12
深さ確認ゲージ	—	KVG136	KVG166	KVG196
拡底確認ゲージ	—	KGE136	KGE166	KGE196
拡底用カッターブレード	—	KBL136D	KBL166	KBL196
拡底用カッターボウジョー	—	KBJ136	KBJ166	KBJ196

## 施工手順

### ● 施工の流れ



### ● 施工手順

作業名	作業内容	確認および注意事項
①準備	(1) 施工工具を準備をしてください。  下穴用ビット径	ねじサイズ   下穴用ビット径 (mm) M10   φ16.6 ~ 16.85 M12   φ19.6 ~ 19.85
1 ②下穴穿孔	 ストッパー部分が躯体表面に当たるまで	使用電動工具：SDS- プラス
2 下穴清掃		穴底と側面に付着した切粉を、集塵機やブロアーなどで、十分に除去してください。 穴底に切粉が残っていないか確認してください。
3 深さ確認	白帯幅内か、定規等を当て確認する  当て方に注意	深さ確認ゲージを下穴に挿入してください。 図のように、フラットな形状のもの(定規等)を躯体表面に当て深さ確認ゲージの白帯幅内に収まっているか確認してください。
4 ①下穴拡底の準備	拡底用カッター  ボウジョー カッターブレード D <sub>1</sub>	ねじサイズ   D <sub>1</sub> 寸法 (mm) M10   φ21.6 ~ 23.2 M12   φ25.7 ~ 26.8

カッターブレードとボウジョーは交換用部品を販売しています。



ユーザーと共に歩む

株式会社 **ミヤナガ**

受注センター

受付窓 口 ☎0120-81-3875

商品お問い合わせ窓口 ☎0120-3875-14

F A X ☎0120-3875-17

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

URL <http://www.miyana.co.jp>

4955396-1

**4**

作業名	作業内容	確認および注意事項
② 拡底	拡底用カッターを下穴の穴底まで挿入してから拡底を始め、ピンが左図の位置に来れば拡底完了になります。	スタックを避けるため、切り込み始めはスラストをかけ過ぎないでください。  使用電動工具：SDS- プラス 消費電力：500W以下  パワーの大きい電動工具を使用するとカッターブレードの耐久性が低下する場合があります。
③ 拡底用カッターの取り出し	カッターブレードが開いている状態でも、拡底用カッターを引き上げると、カッターブレードが閉じ、拡底穴から拡底用カッターを取り出すことができます。	

**5**

作業名	作業内容	確認および注意事項
拡底穴清掃	穴底と側面に付着した、切粉を集塵機やブロアーなどで、十分に除去してください。	孔内に切粉や異物がないか確認してください。

**6**

作業名	作業内容	確認および注意事項
拡底確認	拡底確認ゲージを拡底穴に挿入し、端面を押さえ、ピンが左図の位置に来ること確認してください。	孔内でゲージを回転させないでください。

**7**

作業名	作業内容	確認および注意事項
① アンカー挿入	拡底穴にアンカーを底まで挿入してください。  上向きの場合：アンカーを打込棒に挿入した状態で拡底穴に挿入してください。  キャップはつけたまま……打込棒挿入	エクspアンダースリーブに組み付けられているロックプラグは外さず、そのまま挿入してください。
② アンカー打ち込み	エクspアンダースリーブの端面に、打込棒で打撃を加え、拡張部を開かせ、赤帯が見えるまで打ち込んでください。  機械式の場合：電動工具で打ち込んでください。  手打ち式の場合：ハンマーで打ち込んでください。	機械式の場合 使用電動工具：SDS- プラス 消費電力：850W程度  ねじ部に装着しているキャップは外さず（ねじ部保護のため）、そのまま打ち込んでください。
③ アンカー打ち込み確認	(1) エクspアンダースリーブの端面から、コニカルボルトの赤帯が見えるか、確認してください。  (2) スリーブ表面が躯体表面より規定値以上沈んでいるか確認してください。  (3) アンカーのキャップを外して、打ち込み完了です。	(3) キャップを外す  (1) コニカルボルトの赤帯が見えるか確認  (2) 沈み量測定 $h_s$

**8**

作業名	作業内容	確認および注意事項
ナット締付け	トルクレンチを使用して、ナットを締付けてください。	取付物

ねじサイズ	参考締付けトルク (Nm)		
	46E	46H	A4N
M10	26	46	13
M12	46	80	23